

## 平成 28 年度名古屋大学地震防災訓練 実施計画概要

### 1. 目的

訓練日の午前 11 時 30 分に南海トラフで過去最大クラスの地震が発生したと想定し、学内及び周辺地域の被害想定に基づいて、日中に大地震が発生した際の実際的な対応を確認する。主要な項目は以下の通り。

- (1) 全学一斉避難訓練：安全確保、教職員による避難誘導、一次避難場所の避難者確認、避難後の対応
- (2) 自衛消防隊訓練：ブロック自衛消防隊の建物隊・本部隊の体制と実際的な活動・一斉避難訓練指揮
- (3) 災害対策部局本部訓練：災害対策部局本部の設置、大地震時の部局における対応手順、課題等の確認
- (4) 災害対策本部訓練：災害対策本部の設置、ブロック自衛消防隊と連携した災害時対応訓練
- (5) 安否確認訓練：安否確認システム利用訓練、一次避難場所における避難者確認と部局の集約体制

### 2. 実施日時

平成 28 年 10 月 28 日（金） 11:30～13:00（各訓練の概要と時間帯は別表参照）

### 3. 実施場所

東山地区、鶴舞地区、大幸地区、東郷地区ほか（名古屋大学の全区域）

### 4. 訓練想定

- ・南海トラフで過去の地震を考慮した最大クラスの地震が発生し、名古屋市内で震度 6 強を観測。
- ・午前 11 時 30 分に緊急地震速報が出され、10 秒後に強い揺れを感じ、約 2 分間継続。
- ・ライフライン（電気、電話、水道、ガス等）や公共交通機関は地震直後に停止、当面復旧見込みなし。
- ・学内でけが人や建物の被害が発生（詳細は別途被害シナリオを設定する）

### 5. 当日の主要訓練項目と時刻（別表）

### 6. 防災訓練の準備

- ・ブロック自衛消防隊
  - ブロック連絡調整会議の開催、ブロック本部・建物隊の拠点と体制、分担区域や役割の事前確認
  - 一次避難場所への避難誘導、避難後の安否確認などの準備
  - 自衛消防隊向け防災講習の受講（救命講習、応急手当、火災対応、放送設備、トランシーバ等）
- ・部局
  - 災害対策部局本部の体制整備、自衛消防隊との役割分担と連携、時間外対応を含む名簿の整備
  - 学生・教員への避難訓練参加の周知徹底、参加確認
  - 安否確認の準備
  - 部局に固有の対応項目の確認
- ・災害対策本部・全学自衛消防隊
  - 災害対策本部・全学自衛消防隊の体制と役割の確認
  - 減災館災害対策本部室の設定、設備・装備・機材・備蓄やチェックリスト等の整備
  - 災害後の中・長期的な役割の確認
- ・その他
  - 留学生対応、学内安全確保、交通・通信等

(別表) 10月28日の主要訓練項目 (案)

時間	実施事項 (カッコは対象者)	準備等
(1) 全学一斉避難訓練 (学生・教職員ほか全員参加)		
11:30 ～ 12:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急地震速報の放送、地震発生時の安全確保</li> <li>・ 一次避難場所への避難、教職員等の指示・誘導</li> <li>・ 一次避難場所での避難者確認の徹底</li> <li>・ 自衛消防隊からの注意事項の伝達、隊長の講評</li> <li>・ 12:00以降、安否確認システムのメール受信と入力対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難訓練参加と行動内容の周知徹底 (部局から)</li> <li>・ 建物ごとの避難場所・経路確認と表示の検討</li> <li>・ 東山地区の避難訓練中の車両通行規制</li> </ul>
(2) 自衛消防隊訓練 (ブロック自衛消防隊本部隊・建物隊、全学自衛消防隊)		
11:30 ～ 12:30	<p>(ブロック自衛消防隊 建物隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 隊員の拠点への参集、建物隊長の指示による活動  装備確認、指示、避難誘導、救護活動、避難者確認、建物内外の緊急点検、本部隊への報告など、状況に応じて実施</li> </ul> <p>(ブロック自衛消防隊 本部隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロック本部設営、ブロック防災管理者の指示による活動</li> </ul> <p>(全学自衛消防隊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各ブロックへの連絡・指示、情報集約</li> <li>・ 救護センター、応急危険度判定センター設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブロック連絡調整会議開催、体制、活動内容、装備の調整</li> <li>・ 各建物の体制、避難経路や誘導、消火・救助</li> <li>・ 全学自衛消防隊の体制、活動内容</li> <li>・ 救護センター、応急危険度判定センター</li> </ul>
(3) 災害対策部局本部訓練 (部局長、部局対応要員、安否確認担当者)		
11:30 ～ 12:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対策部局本部の設置 (部局長、部局対応要員)  設置場所、体制確認、装備等確認、情報収集、  ブロック自衛消防隊との分担・連携体制の確認</li> <li>・ 部局の安否確認の実施</li> <li>・ 安否確認担当者を中心に、学生・教職員の確認</li> <li>・ 部局として当面の対応内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 名簿作成、役割確認、自衛消防隊との関係の整理</li> <li>・ 安否確認実施要領</li> <li>・ 被害想定に基づく部局の当面の課題の整理</li> </ul>
(4) 災害対策本部訓練 (災害対策本部、災害対策本部事務局)		
11:30 ～ 13:00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害対策本部の設置  各自の部署で安全確保後に減災館に参集。途中状況確認。</li> <li>・ 災害対策本部の活動  全学自衛消防隊からの状況報告、緊急対応の訓練  被害想定に基づく災害時の災害対策本部の行動内容  災害対策本部事務局の運営、支援体制の確認  安否確認システムのメール一斉発信</li> <li>・ 講評、非常食試食等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学内被害想定、広域大地震発生後の大学の課題について事務局等で事前検討</li> <li>・ 減災館設備、装備等確認</li> <li>・ 減災館災害対策本部室への参集手順、装備等の確認</li> <li>・ 災害対策本部の緊急時対応チェックシートの整備・確認</li> </ul>